

合同講義が実施可能な内容  
(救急看護・集中ケア関連)

合同講義が可能な内容は、同じ色で示した①から⑧です。

専門基礎科目

救急看護	集中ケア	新生児集中ケア	小児救急看護
教科目と単元	教科目と単元	教科目と単元	教科目と単元
1. 救急看護概論 1) 救急医療の変遷と現状 2) 救急医療に特徴的な倫理・社会的問題 (救急領域の意思決定支援、救急領域の終末期ケア、移植医療、虐待、DV等への対応を含む) 3) 救急医療・看護に必要な法的知識 4) 救急医療と医療経済 ① 5) 救急医療における専門職の連携と協働 6) 救急看護の特徴と機能 7) 救急医療における看護の機能と救急看護認定看護師の役割 8) 救急医療におけるリスクマネジメント ② (感染予防対策、生命維持装置の安全対策) (暴言暴力への対応を含む)	1. 集中ケア看護概論 1) 集中ケアの概念 2) 集中ケアの変遷 ③ 3) 侵襲による生体反応 4) 集中治療室の環境が患者に及ぼす影響 5) 集中ケアにおける看護の役割 6) 集中ケア認定看護師の役割と機能 7) 集中ケアにおける看護倫理 8) 集中ケアにおけるケアリング 9) 集中治療室における終末期ケア 10) 集中ケアに関連する法的知識	1. 新生児集中ケア概論 1) 新生児医療・看護・診療報酬の現状と変遷 2) 新生児集中ケア認定看護師の役割 3) 新生児集中ケア領域の倫理的課題 4) 新生児集中ケアに必要な法的知識と医療経済 5) 新生児集中ケアにおける社会資源の活用 ① 6) チーム医療における協働	1. 小児救急看護概論 1) 小児救急看護の概念と歴史 2) 小児救急医療体制 3) 小児救急看護を实践する場 (1) 救急外来 (2) 小児一般外来 (3) 救命救急センター (4) 在宅医療 (5) その他 4) 小児救急看護の対象 5) 小児救急看護認定看護師の機能と役割 (1) 診療報酬のしくみ (2) 小児救急と診療報酬
2. 救急患者の主要病態と治療 1) 脳卒中の病態と治療 2) 急性呼吸不全の病態と治療 3) 急性循環不全の病態と治療 4) 急性腹痛の病態と治療 5) 多臓器障害の病態と治療 6) 外傷の病態と治療 7) 熱傷の病態と治療 8) 急性中毒の病態と治療 9) 急性精神症状の病態と治療 ③ 10) 侵襲と生体反応 ④ 11) 臨床検査、画像評価、栄養評価	2. 集中ケアにおけるアセスメント概論 1) フィジカルアセスメント技術 ④ (画像評価、臨床検査を含む) 2) 加齢に伴う身体・心理的变化 3) 患者・家族の心理・社会的アセスメント ⑤ (1) ストレスコーピング ⑥ (2) 危機理論	2. フィジカルアセスメント 1) 新生児のフィジカルアセスメントの基礎知識 (1) モニターの値・検査結果の判読 (2) 生理学的および行動学的観察 2) 新生児の発達生理 (1) 人の発生と胎児発育 (2) 出生前の環境と予後への影響 3) 新生児のフィジカルアセスメント (1) 健常新生児のフィジカルアセスメント (2) 低出生体重児のフィジカルアセスメント	2. 子どもの権利と社会資源 1) 子どもの権利と親の権利 (1) 児童の権利に関する条約の意義と特徴 (2) 社会の変化と子どもの権利 (3) 子どもの成長・発達とインフォームド・コンセント、インフォームド・アセント (4) 子どもの権利擁護・倫理的配慮 (5) 親の権利 2) 小児保健医療福祉制度 3) 小児救急医療と法律(臓器移植法、子どもに関わる法律、子どもを守るための条例・規制など) 4) 子どもと家族の健康を支える社会資源 (各種施設、機関、団体および人々の知識、技術など、物質的・人的諸要素) 5) 関係機関・他職種との連携
3. 救急患者と家族の心理・社会的アセスメント 1) 救急医療を必要とする患者・家族の心理と社会的状況の理解 ⑤ (1) ストレス・コーピング理論 ⑥ (2) 危機理論 (3) 家族理論 (4) 看護に活用できる心理・社会的理論 (ニード論、悲嘆の理論、役割理論、カウンセリング理論など) 2) 理論に基づく心理・社会的アセスメントの実際	3. 集中ケアにおける安全管理 ⑦ 1) 集中治療室における安全管理 2) 集中ケアに特徴的な医療事故と防止対策 3) 生体情報モニタと特殊な検査機器使用時の安全管理 ② 4) 生命維持装置を装着した患者の安全管理 ② 5) 感染予防対策 ⑧ 6) 災害時の安全管理	3. 新生児集中ケアにおける臨床薬理 1) 新生児期の薬物動態と薬理作用 2) 新生児集中ケア領域で用いられる薬剤	3. 子どもの成長発達 1) 形態的・機能的発達の理解 2) 発達理論の理解 (1) 母子関係 ① ボウルビイの愛着理論 ② マーラーの分離・個体化理論 (2) 認知発達 ① ピアジェの認知発達理論 ② ブリッジスによる情緒の分化 (3) 心理社会的発達 ① エリクソンの自我発達理論 ② ハヴィガーストの発達理論 3) 発達段階に応じたアセスメント (セルフケア能力を含む) 4) 発達障害の種類と特徴(自閉症、アスペルガー症候群、注意欠如・多動性障害他)

合同講義が実施可能な内容  
(救急看護・集中ケア関連)

合同講義が可能な内容は、同じ色で示した①から⑧です。

救急看護	集中ケア	新生児集中ケア	小児救急看護	
教科目と単元	教科目と単元	教科目と単元	教科目と単元	
4. 災害急性期看護 1) 災害と医療 2) 災害時の危機管理と3Ts (Triage、Treatment、Transportation) 3) 災害急性期の看護の役割 4) 施設の事前対策と教育・訓練	30 4. 集中ケアにおけるコミュニケーションとマネジメント 1) 集中ケアにおける患者・家族とのコミュニケーション ① 2) チーム医療のマネジメント 3) 看護師のストレスマネジメント	15 4. 安全管理 1) リスクマネジメント (1) リスクマネジメントに必要な知識 (2) 新生児集中ケア領域の事故の種類と要因 2) 環境・設備と安全管理 ⑦ (1) 事故予防のための環境設備 ⑧ (2) 災害対策 3) 医療機器と安全管理 (1) 医療機器の原理と使用法 (2) 医療機器の保守点検と管理 4) 薬品管理・与薬の安全管理 (1) 薬品管理 (2) 与薬法 (3) 与薬事故対策 5) 新生児の感染管理 (1) 感染予防の原理・原則 (2) 新生児の免疫学的特徴 (3) 感染対策	30 4. 小児救急における薬の知識 1) 小児における薬物動態 2) 小児救急で使用する薬剤の効果および副反応 (蘇生時・鎮静時の薬剤含む) 3) 小児への薬剤の投与方法 4) 小児の薬物投与に関する禁忌 5) VPD (Vaccine Preventable disease) とその対応について(予防接種含む)	15
	5. 集中ケアにおける臨床薬理 1) 薬物動態 2) 集中ケアに用いられる主な薬剤 (1) 鎮痛薬 (2) 鎮静薬 (3) 血管作動薬 (4) 抗菌薬 (5) 血液製剤	15 5. ハイリスク新生児の親の理解 1) 母性と父性の理解 2) ハイリスク新生児をもつ家族の体験の理解とケア (1) 早産児の親(多胎児を含む) (2) 障害のある子どもをもつ親 (3) 子どもを亡くした親 (4) 不妊治療を経験した親 3) 周産期からの虐待予防	30 5. 子ども・家族への接近法 1) 子どもと家族の反応を理解するための主な理論 ⑥ (1) 危機理論 (2) 防衛機制 ⑤ (3) ストレス・コーピング理論 2) 子どもや家族と関係性を形成し接近するために必要な基本的知識 (1) 各発達段階における接近法 (2) 家族への接近法 (3) 状況に応じた接近法 (4) 子どもと家族の意思決定のための支援 (インフォームド・コンセント、インフォームド・アセント、プレパレーションを含む)	15
		6. ストレスマネジメント 1) ストレス・マネジメント理論と活用 ⑤ 2) ストレス・コーピング理論と活用	15 6. 子どもの虐待 1) 子どもの虐待に関する基本的知識 (1) 定義 (2) 概念 (3) 統計 (4) 実態 (5) 歴史 (6) 発生要因 (7) 虐待に関する理論等 2) 子どもの虐待に関連する法律及び関連機関の役割と連携 3) 虐待の兆候・臨床像 4) 虐待の緊急度・重症度の判定 5) 初期治療および対応の原則 6) 虐待を行う家族の理解 7) 虐待の予防	30